

令和6年度自然科学探究I研究発表会 評価項目（改定案）

I 先行研究	先行研究が調べられているか。	4	関連した研究論文等を調べており、何を引用しているか、自分たちの研究と何が違うのかが明確である。
		2	関連した研究論文等を調べており参考にしているが、関連性や相違点が不明瞭である。
		1	関連した研究論文等に全く触れていない。

II 論理性	研究の流れが分かりやすくまとめられており、主張が明確であるか。	4	研究の流れが分かりやすく、主張が明確に述べられている。
		2	研究の流れが分かりにくい部分がある。
		1	研究の流れが不明瞭である。
	方法、考察、結論が適切か。	6	問いに答えるための検証方法が適切で再現性があり、得られた結果に対する考察と結論に至るまでの一貫性がある。
		4	問いに答えるための検証方法が適切で再現性があるが、得られた結果に対する考察と結論に不明瞭な部分がある。
		2	問いに答えるための検証方法が適切でない部分がある。
		1	問いに答えるための検証方法として適切ではない。

III 文字・図表	図表（図やグラフなど）が効果的に使用され、文字の大きさ・配色が適切か。	3	図表が効果的に使用されており、字の大きさや配色が適切なため、研究内容が伝わりやすくなっている。
		2	図表や文字の大きさや配色がおおむね適切に使用されているが、一部何を示しているのか内容が伝わりにくい部分がある。
		1	図表に不備があったり、字の大きさや配色で不適切があったりして全体的に研究内容が伝わりにくい。

IV 質疑応答	質問に対して根拠を持ち、答えているか。	3	質問に対して明確な根拠を持って答えることができている。
		2	質問に対して答えているが、一部根拠が明確ではない。
		1	質問に対して答えられていない。

評価基準の変更箇所について

○原稿を見てもよいと思う。発表や研究の中身を見てほしい。

→「原稿を見ずにわかりやすく話している」の項目を削除した。

○質疑応答の様子を評価基準に加えた方がよい。

→質疑応答の項目を加えた。

○論理展開が自然であれば問い、問～結論の流れの枠に必ずしもものにとってなくてもよい

→「研究の流れがわかりやすくまとめられている」とした。

○問いと結論が合致しているかどうかをもっと重要視すべきでは？

→研究の再現性、問い～結論の一貫性について評価するように変更した。